

## 岩手県野田村の支援・交流活動報告（2012年9月15日）

連休初日の9月15日（土）、この日は、いつもの学習支援に加え、交流活動として、リンパマッサージ講習と、津軽三味線演奏会を行いました。参加者は16名（市民8名、学生7名、教員1名）でした。リンパマッサージの講師の方4名、弘前大学からは津軽三味線サークルの学生さん3名に参加いただきました。



道の駅「おりつめ」での記念撮影



リンパマッサージの様子

バスが出発したのは予定通り7時でしたが、いつものバス会社さんと違うこともあり、11時少し前に野田村に到着しました。2つのグループに分かれ、学生3名は、役場近くで、子どもたちへの学習支援を行いました。午前中は、15名ほどの子どもが来ていて盛況だったようです。残りの13名は、「かまどのつきや」に向かい、リンパマッサージの講習&体験を行うことになりました。野田村からは5~6名の方が三々五々集まり、なごやかな雰囲気の中、交流が始まりました。専門家ではない私たちは、横でマッサージの様子を見ていただけなのですが、ボラティア同士でも知っているつぼを押しあったり、時間の空いたときに講師の方にやり方を教えてもらったりして、のんびりと過ごしました。

学習支援組も合流して、お昼ご飯を食べた後、13時からは弘前大学津軽三味線サークルによる演奏会が始まりました。おなじみのじょんから節や、サークルのオリジナル曲を含む、5曲が演奏されました。野田村からは10名ほどの方が集まってきて、みなさん、静かに聴き入っていられました。その後、リンパマッサージ講習&体験を再開。マッサージや、三味線といった、ちょっとしたトピックがあると、会話のきっかけができるのが良かったです。みなさん、コーヒーも飲みながら、世間話に花を咲かせている様子でした。

一方、三味線サークルの3名は、演奏後、子どもたちへの学習支援を行っている役場横に移動し、演奏会を行いました。後で様子をきくと、4名ほどの子どもが参加。演奏会の最中は、あまり興味がなさそうだったのですが、終わってから「体験会」の段階になると、

興味津々で寄ってきて、楽しく交流できたとのことでした。



津軽三味線演奏会



野田漁港からの風景

婦人会でのマッサージ講習・交流は14時半頃に終わったため、市民の方の案内で、野田漁港を見学しにいきました。漁港ではちょうど復興工事が行われていました。堤防の残骸や、津波がえぐったのであろう土の風景に、初めて野田村を訪れた方々は驚いていました。

帰りのバスの感想タイムでは、「前に遊んだ子どもとまた会えてよかった」「初めての参加で緊張したけれどもまた参加したい」「表向きは明るいけど、住宅の問題など、大変なことも多いようだ」という話が出てきました。当時、震災をどのように体験したのか、そこには勿論大きなばらつきがあるわけですが、野田村の方との交流、またボランティア参加者同士の交流を通じて、震災をめぐるゆるやかな共有ができているように感じた一日でした。

(担当：日比野愛子)